

シングルセル解析のためのサンプル調製手順

本手順書は、10X Genomics シングルセル解析のためのサンプル調製手順を示したものです。
解析に使用するサンプルは、本手順に従って調製したものを提出ください。

● 必要な試薬・資材

製品名	メーカー	Part No.
Gibco IMDM	Thermo Fisher Scientific	12440-053
Dimethyl Sulfoxide (DMSO), for molecular biology	Fisher Scientific	ICN19141880
Corning RPMI 1640	Corning	10-040-CM
Seradigm Premium Grade Fetal Bovine Serum (FBS)	VWR	97068-085
CoolCell FTS30 Cell Freezing Container	Biocision	BSC-170

● 調製試薬の準備

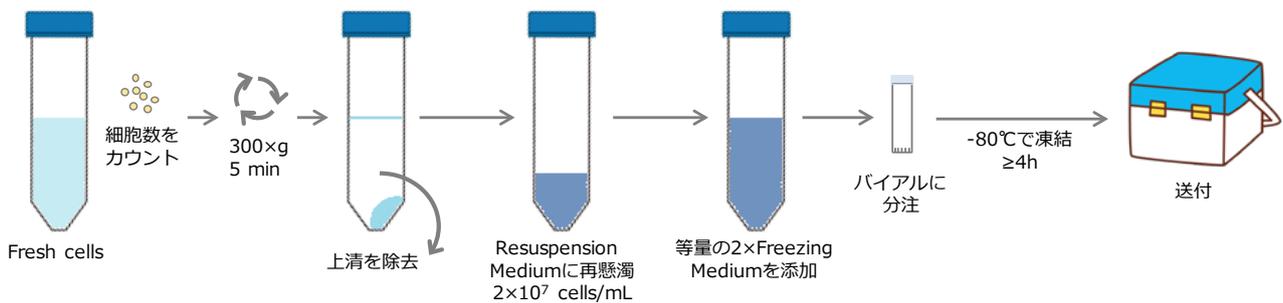
調製試薬名	組成	保存温度
Resuspension Medium	40% FBS (培地中 (IMDM、RPMI 等))	4℃
2X Freezing Medium	30% DMSO, 40% FBS (培地中 (IMDM、RPMI 等))	

● 解析に必要なサンプル

本手順書により調製した細胞 1×10^6 cells 以上 (-80℃保存)

● プロトコル

Overview



事前準備 :

細胞の保存を始める前に、細胞凍結容器 (CoolCell FTS30 等) を氷冷にて予冷してください。

1. サンプルを氷上に静置する。
2. サンプルを穏やかに攪拌する。
3. 細胞数をカウントし、総細胞数と生存率を算出する。
4. サンプルを **300 ×g、5 分間、4℃** で遠心する。
5. 上清を除去する。
6. ペレットを Resuspension Medium (4℃保存) を用いて 2×10^7 cells/mL となるように懸濁する。
(サンプルは氷上に保持すること。)
7. サンプルに等量の 2X Freezing Medium (4℃保存) を加える (細胞濃度 : 1×10^7 cells/mL) 。
サンプルを穏やかに攪拌する。
8. サンプルを予冷したバイアルに分注し、予冷した細胞凍結容器に移す。
9. 細胞凍結容器を-80℃で 4 時間以上静置する。サンプルを長期間保存する場合は、液体窒素凍結で保存する。

● サンプル発送方法

サンプルは、ドライアイス梱包の冷凍便、着払いにて下記までご送付ください。

【検体送付先】

株式会社 Cancer Precision Medicine CPM クリニカルラボ

〒210-0821 神奈川県川崎市川崎区殿町 3-25-10 Research Gate Building TONOMACHI2 1F

TEL : 044-201-8092

参考文献 :

10X Genomics, Demonstrated Protocol–Fresh Frozen Human PBMCs for Single Cell RNA Sequencing (RevD)



お問い合わせ先

株式会社 Cancer Precision Medicine (キャンサー・プレシジョン・メディシン)

CPM クリニカルラボ 受託解析サービス

〒210-0821 神奈川県川崎市川崎区殿町 3-25-10 Research Gate Building TONOMACHI2 1F

E-mail: support@cancerprecision.co.jp HP: <https://www.cancerprecision.co.jp/>